

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期今別町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県東津軽郡今別町

3 地域再生計画の区域

青森県東津軽郡今別町の全域

4 地域再生計画の目標

【人口の推移】

人口は減少傾向にあり、出生者数を死亡者数が上回る自然減と転出超過による社会減がともに続いている。年齢3区分別にみると高齢者人口割合は増加しているものの、年少人口及び生産年齢人口割合が年々減少している。社人研推計によると、26年後の令和32年（2050年）には、町人口は691人にまで減少すると見込まれる。

【自然減の内容】

結婚・出産適齢期である20～39歳の令和2年の人口は、男性102人、女性74人で、20～39歳の女性数と人口割合がともに減少する中、男性の未婚率が上昇するとともに、合計特殊出生率は全国や県レベルに近い水準で低迷しており、結果として毎年の出生数は数人程度にとどまり、過去10年間に出生者数を死亡者数が上回る自然減が続いている。

【社会減の内容】

社会動態をみると、平成23年には転出者（111人）が転入者（67人）を上回る社会減（▲44人）であった。その後も少子高齢化に伴う、産業の後継者不足が悪化し、雇用の機会が減少したことで、令和2年も状況は改善されず、▲23人の社会減となっている。このように、過去10年間、転出者数が転入者数を上回る転出超過傾向が続いており、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- 基本目標 1 働きたい今別町をつくる
- 基本目標 2 行きたい、住みたい今別町をつくる
- 基本目標 3 家族と生活したい今別町をつくる
- 基本目標 4 魅力的な今別町をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	地域おこし協力隊任用数（累計）	1 人	5 人	基本目標 1
ア	認定農業者数	19人	20人	基本目標 1
ア	起業件数	0 件	2 件	基本目標 1
イ	海峡の家ほろづき及びいまべつ総合体育館宿泊者数（累計）	7,332 人	10,000 人	基本目標 2
イ	文化スポーツ交流者数	24,735 人	50,000 人	基本目標 2
イ	移住者数	9 人	12 人	基本目標 2
ウ	出生数（平均）	3.4人/年	5 人/年	基本目標 3

ウ	小中学校 検定試験 受験率	61%	80%	基本目標 3
エ	オンラインサービス 利用による 行政手続 き件数	0 件	50 件	基本目標 4
エ	多世代交流イベント 開催回数	1 回/年	3 回/年	基本目標 4
エ	特定健診受診率	38%	45%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期今別町まち・ひと・しごと創生事業

ア 働きたい今別町をつくる事業

イ 行きたい、住みたい今別町をつくる事業

ウ 家族と生活したい今別町をつくる事業

エ 魅力的な今別町をつくる事業

② 事業の内容

ア 働きたい今別町をつくる事業

- ・地域の産業を活性化する
- ・産業の担い手を育成する
- ・新しい産業を興す

【具体的な取組】

地域資源の発掘に係る地域おこし事業

今別町特産品等開発補助金事業 等

イ 行きたい、住みたい今別町をつくる事業

- ・ 町外からの観光おもてなしを充実する
- ・ 町外の人々との交流を活発化する
- ・ 町外からの移住を促進する

【具体的な取組】

奥津軽いまべつ駅周辺環境整備事業

今別町二次交通利用促進事業 等

ウ 家族と生活したい今別町をつくる事業

- ・ 結婚・出産・子育てを応援する
- ・ 子どもの健やかな心と体を育む

【具体的な取組】

婚活イベント実施事業

子育て支援事業 等

エ 魅力的な今別町をつくる事業

- ・ まちの利便性を高める
- ・ 町民の交流機会を増やす
- ・ 町民の健やかな暮らしを応援する

【具体的な取組】

第2 青函トンネル構想の早期実現要望活動

地域交流の場支援事業 等

※なお、詳細は第3期今別町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000 千円（2025年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

点検・評価は、毎年度末に外部組織である「今別町まち・ひと・しごと創

生推進会議」が検証機関として効果検証し、検証結果報告をまとめる。さらに効果検証結果を町広報紙及び町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2030 年 3 月 31 日まで